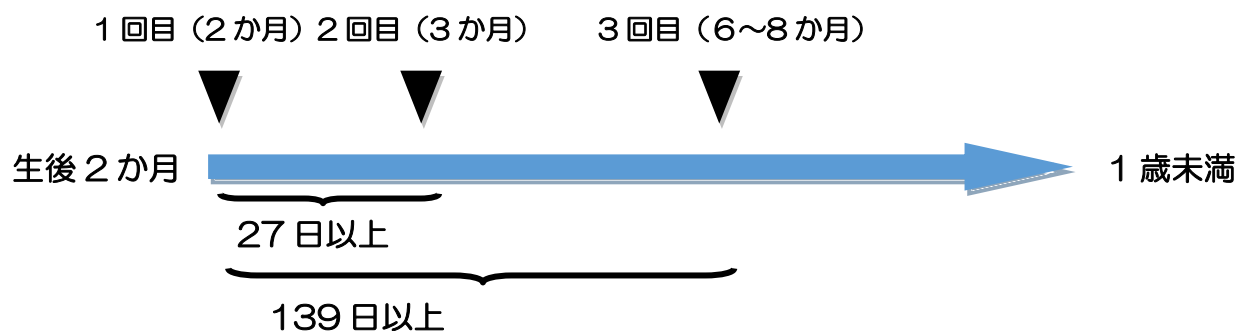


～ 生後2か月以上のお子様がいる保護者の方へ ～

B 型肝炎ワクチン予防接種のお知らせ

対象者	生後2か月から1歳のお誕生日前日まで
回数	3回
費用	全額公費負担（無料）
場所	市内指定医療機関 または 本島内の医師会加盟機関

◆B型肝炎ワクチンの標準的な接種スケジュール



※接種をする際は、必ず親子（母子）手帳をご持参ください。

※1回目から2回目は27日以上、1回目から3回目は139日以上の間隔を置いて接種してください。

※母子感染予防のためにB型肝炎ワクチンの接種を行った場合、定期接種の対象外となりますが、健康保険の適用で接種できます。

お問い合わせ先

保健相談センター 健康づくり課 予防係

☎ 098-875-2100



B型肝炎ってどんな病気？

肝臓の病気です。肝炎になると、肝臓の細胞が壊れて、肝臓の働きが悪くなります。

B型肝炎ウイルスの持続感染者（HBV キャリア）のうち、約 10～15%の人が慢性肝炎を発症し、治療が必要とされています。

慢性肝炎を発症した場合、適切な健康管理や必要に応じた治療をせずに放置すると、自覚症状がないまま肝硬変と進展し、肝がんになることもあります。適切な治療を行うことで病気の進展を止めたり、遅らせることができますので、症状がなくても検査をし、早期発見に繋げることが大切です。

【肝臓の働き】

- ・栄養分（糖質、たんぱく質、脂質、ビタミン）の生成、貯蔵、代謝
- ・血液中のホルモン、薬物、毒物などの代謝、解毒
- ・出血を止める因子の生成
- ・胆汁の産生と胆汁酸の合成
- ・身体の中に侵入したウイルスや細菌の感染を防御する

B型肝炎ワクチンについて

平成 28 年 10 月から定期接種として追加されています。定期接種としては新しいワクチンですが、世界の多くの国で接種されている安全性の高いワクチンです。

一方、予防接種を受けても、お子さんの体質や体調によって免疫ができないことがあります。

また、ワクチンを3回接種した後の感染防御効果は20年以上続くと考えられています。



ワクチンの副反応について

主な副反応は局所の腫脹・発赤、疼痛、倦怠感、発熱、頭痛などです。いつもより機嫌が悪かったり、ぐずったり、眠そうにしたりすることがあります。また、極めてまれではありますが重大な副反応として、アナフィラキシー様症状（※1）、急性散在性脳脊髄炎（※2）等が現れることがあります。気になる症状等がありましたら、お早めに医療機関を受診してください。

※1 急なアレルギー反応により、じんましんがでたり呼吸が苦しくなったりすることがあります。

※2 自己免疫（免疫力が強すぎて自分を攻撃してしまう）という現象で起こる脳や脊髄の病気です。発熱、嘔吐、意識がはっきりしない、手足が動きにくいなどの症状がみられます。